

アミロイド PET/CT 検査説明・同意書

1. PET 検査とは

PET(Positron Emission Tomography:陽電子放出断層撮影)検査とは、画像検査の一種です。専用の検査薬を体内に投与し、その薬剤が特定の部位に集まる様子を専用の装置で画像化します。例えば、がん検診などで広く行われている FDG-PET 検査は、ブドウ糖の代謝が活発な部位を特定するもので、既に健康保険の適用となっています。

2. CT 検査とは

CT(Computed Tomography)検査とは、X 線を用いて体の断面を撮影する検査です。体の組織による吸収率の違いを白黒の濃淡として画像化します。本検査では PET 画像と CT 画像を重ね合わせることで、薬剤が集まっている場所をより正確に特定します。

3. アミロイド PET/CT 検査とは

アルツハイマー型認知症の診断を補助するために厚生労働省の承認を受けた検査です。アルツハイマー型認知症は、脳内にアミロイド β 蛋白という異常なタンパク質が蓄積し、神経細胞が死滅することで発症すると考えられています。

この検査では、脳内のアミロイド β 蛋白に結合する薬剤(アミロイド PET 用薬剤)を投与し、その蓄積量を可視化します。これにより、認知機能低下の原因がアルツハイマー型認知症によるものかどうかを判断する重要な情報が得られます。

4. 検査の手順と時間

1. 薬剤の投与: 検査薬を静脈から注射します。
2. 待機時間: 注射した薬剤が脳に届くまで、院内の安静室で約 90 分間お休みいただきます。
3. 撮影: 装置のベッドに仰向けになり、約 20 分間撮影します。撮影中は体を動かさないよう安静にしてください必要があります。
 - トータル時間: 受付から終了まで、通常 120 分~150 分程度 を見込んでいます。
 -

5. 検査に伴う被ばくについて

本検査は放射線を用いますが、その量は健康に影響を与えるレベル(100mSv)を大きく下回る約 5~8mSv 程度です。これは一般的な医療用 CT 検査(5~30mSv)と同等、あるいはそれ以下です。また、使用する薬剤は数時間で半分に減り(半減期:約 2 時間程度)、尿などからも排出されるため、翌日には体内にほとんど残りません。

6. 検査に使う薬剤について

本検査では、以下のいずれかのアミロイド PET 用薬剤を使用します。

- フロルベタベン（18F）（製品名:Neuraceq）
- フルテメタモル（18F）（製品名:VIZAMYL）

※いずれも薬事承認を受けた安全性の高い薬剤です。詳細は別紙の薬剤説明資料をご参照ください。

7. 検査結果について

当院は紹介元医療機関からの依頼に基づき検査を実施します。検査結果(読影レポート)は紹介元の主治医へ送付されます。今後の治療方針については、現在の主治医とよくご相談ください。

8. 副作用と緊急時の対応

稀に一過性の頭痛、血圧上昇、めまい、注射部位の痛みなどが生じることがあります。検査中に気分が悪くなった場合は、すぐにスタッフにお知らせください。万が一、緊急の処置が必要となった場合は、適切に対応いたします。

アミロイド PET 検査 同意書

医療法人天瑤会 あかり PET 画像診断クリニック 院長 殿

私は、アミロイド PET 検査(使用薬剤:フロルベタベンまたはフルテメタモル)の実施にあたり、医師より検査の目的、必要性、リスク(被ばくや副作用)、および緊急時の対応について十分な説明を受け、内容を理解しました。

- ()検査の実施に同意いたします。また、緊急時に必要な処置が行われることについても同意いたします。
- ()検査の実施に同意いたしません。

年 月 日

患者様氏名 _____ 印(または自筆署名)

保護者・代理人氏名 _____ 印(続柄: _____)

(※本人が未成年、または署名困難な場合、親族の同意が必要な場合にご記入ください)

説明医師署名 _____ 印

あかり PET 画像診断クリニック

〒862-0941 熊本市中央区出水 7 丁目 36-25

TEL:096-370-7111 / FAX:096-370-7117